

～ 地域の魅力“いいとこ”“いいもの”発信！ ～
商工会女性部 おもてなし交流事業「おもてなしプラン」提案書

都道府県名	岩手県		市町村名	野田村
ふりがな	のだむら		しょうこうかいじょせいぶ	
★ 女性部名	野田村		商工会女性部	
所在地	岩手県九戸郡野田村大字野田19-2-14			
URL	http://www.shokokai.com/noda/			
TEL	0194-78-2012	FAX	0194-78-2021	
E-Mail	noda@shokokai.com	女性部担当者	田中 陽平	
女性部長氏名	大沢 伸子	女性部員数	39人	
部費 (年間1人あたり)	2,500円	平成26年度 女性部予算総額	789千円	
設立年月日	昭和53年3月1日	設立後年数	37年	

★ おもてなしプラン 名称	三陸野田のジオに触れて、海の恵みに舌鼓 ～ 野田村商工会女性部によるおもてなし事業 ～			
★ おもてなしプラン 内容	岩手県の沿岸北部に位置する野田村。村の北には高さ50Mの縞模様の断崖「大唐の倉」、3.5 ^{km} にわたり弧を描くジオサイト「十府ヶ浦海岸」、南には東北一の「鮭のふ化場」があり地域産業も漁業の占める割合が大きく風光明媚な自然豊かな村です。プランクトンが豊富な外海で育てられた「荒海ホタテ」と薪窯直煮製法で作られたミネラル豊富な天然塩「のだ塩」を練り込んだ塩ソフトクリームも人気で、その他ホタテお造りと塩づくり体験も好評です。また、野田村で2つ目のジオサイト「野田玉川鉱山跡」の一部を観光坑道として公開している「マリンローズパーク玉川」などまるごと野田村の空気を肌で感じてもらえればと考え、私たち女性部員が同行してご案内させていただきます。			
受入可能時期	10月から12月上旬	受入人数上限	25名程度	
おもてなしポイント	女性部特製のホタテスープとのだ塩おにぎりでおもてなしさせていただきます。			
★ 県内の女性部へ メッセージ・PR	全国の皆様からご支援頂き、野田村も大きく生まれ変わろうとしております。大震災で失ったもの以上に得るものも沢山有りました。なかでも、海の恵みと地域の魅力を再発見できたので是非足を運んで自然を堪能してください。			
特色ある 女性部事業	商店街街路灯にハンギングバスケットを設置し、部員と住民がふれあう場として、また震災後は来村する方々への感謝の意を表す活動を展開。また、地域のイベントにキッズコーナー担当として積極的に参加して地域活性化の一助を担っております。			
市町村の概要 (人口・主要産業等)	野田村は岩手県の沿岸北部に位置し、総面積80.83 ^{km} の臨海峡谷型で夏場にはヤマセが発生し、冷涼湿潤となり冬の降雪量も少量です。主要産業が大震災で被災しましたが、海面養殖を主力とした漁業が復興中。人口減少が加速している4,500人の山と海に囲まれた小さな自然豊かな村です。			
アクセス方法	東北自動車道 九戸I.Cから車で60分／東北新幹線二戸駅よりJRバス(スワロー号)で久慈まで60分、三陸鉄道久慈駅より15分／宮古駅より三陸鉄道で90分			

★印のついている項目は、PRチラシに記載する必須項目です。



野田のたからもの、
見つけませんか

散策モデルコース
(約3時間)



観光物産館ばあふる「道の駅」スタート

夏場にはヤマセが見られます。

「大唐の倉」と「十府ヶ浦海岸」を一望できるパーキングで震災ボランティアがガイド致します。



「鮭のふ化場」「のだ塩工房」を見学。「塩づくり体験」(体験料お一人様500円)も出来ます。南部曲り屋で女性部特製の「荒海ホタテスープ」と「のだ塩おにぎり」でおもてなし致します。

マリノローズパーク玉川「野田玉川鉱山跡」の観光坑道の見学。

野田玉川駅より陸中野田駅まで三陸鉄道北リアス線にゆられ、NHK連ドラ「あまちゃん」をご回想いただけます。(料金お一人様260円) 注意:列車時間に間に合った場合のみ。

のだ塩・しだみ(どんぐり)団子など土産品を販売している「観光物産館ばあふる」と「産直ばあふる」で旅の思い出を!

「冬場にも人気です!」
「塩ソフトクリー」



日本ではここでしか産出されていない貴重な石



3.5kmにわたる弧を描くジオサイト「十府ヶ浦海岸」



薪窯直煮製法で作られたミネラル豊富な天然塩「のだ塩」



荒波に揉まれ、身が締った「荒海ホタテ」

 野田村商工会女性部

〒028-8201
岩手県九戸郡野田村19-2-14
TEL:0194-78-2012 Fax:0194-78-2021